

令和7年 十勝圏農業新技術セミナー

■ 開催概要

開催日時 令和7年2月27日（木）

開催地 幕別町百年記念ホール

■ 開催内容

開会挨拶 道総研十勝農業試験場長 相馬 潤

来賓挨拶 幕別町長 飯田 晴義 様

1. 新品種・新技術の紹介

- コムギ縞萎縮病に強い 秋まき小麦新品種「きたほなみR」
- プラスチック被覆肥料に頼らない ばれいしょ・てんさいへの代替資材
- 加工用にんじんを4月まで安定供給！
- 衛星データと地理情報で農地の排水性を診断
- 露地野菜の収穫が楽々！コンベヤキャリアによる収穫体系
- 令和7年に特に注意を要する病害虫
- テンサイ褐斑病抵抗性極強品種の省力防除法

2. 普及活動の紹介

- 忠類ゆりねの収量向上に向けた取り組み

3. ポスター展示（上記講演課題以外の展示分）

- 貯蔵後も「男爵薯」に近い味わいで芽が出にくい ばれいしょ「ゆめいころ」
- 輪作に加えるとメリットたくさん！子実用とうもろこし有機栽培のコツ
- 食を育む北海道の耕地土壌の現状
- GAP 導入で経営改善～モチベーションに着目した対応策～
- 令和6年度に新たに発生した病害虫
- コンバインで収穫ロスが少ない！小豆「きたいろは(十育180号)」
- 倒れにくく葉落ちスッキリ！手亡「舞てぼう(十育A65号)」
- 倒れずにたくさん穫れる！早生金時「秋晴れ」

閉会挨拶 十勝農業改良普及センター所長 伊與田 まや 様

■ 資料等

要旨集

■ 来 場 者

当日は205名の方に来場いただきました。誠にありがとうございました。

■ 来場者アンケート結果

昨年に引き続き対面で開催しましたが、たくさんの方々にご来場いただき、またご意見をいただき、ありがとうございました（回答総数 84）。多くの方に「全体にわかりやすかった」と評価をいただき、うれしい限りです。

要旨集については、来場者に新技術等の概要をつかんで戴くことが第一と考えて、今回もポスターと同内容をカラーで印刷して提供しました。発表スライドそのものの要旨集への掲載については、印刷日程と予算的な制約から見送りましたが、今回も多くのご要望をいただいておりますので、今後の検討課題いたします。

より詳しい情報は、道総研のホームページ（農業技術情報広場 試験研究成果一覧 一般課題 R7）に成績概要書を公開しておりますので、そちらもご覧ください。

<https://www.hro.or.jp/agricultural/center/result/kenkyuseika/ippan-r07.html>

皆様にいただいたご意見等は、次年度のセミナー計画に反映し、よりよいセミナーとして開催したいと思います。

